

# キュービーネットホールディングス株式会社

2020年6月期 第3四半期 決算説明資料

2020年5月19日



# **I 2020年6月期 第3四半期実績**

## **II 新型コロナウイルス感染拡大による当社業績への影響**

## 2020年6月期第3四半期 グループ連結業績（サマリー）

- 価格改定の影響と新型コロナウイルスの影響があったものの、第3四半期では概ね増収増益
- 但し、通期業績予想は臨時休業等に伴う影響により下方修正、配当予想は無配へ修正

### 通期グループ連結業績（サマリー）

単位：百万円	2020/6期第3四半期			2020/6期通期			
	実績	売上比	前期比	当初予想	修正予想	増減額	増減率
売上収益	16,162	100.0%	106.2%	22,342	18,672	△3,671	△16.4%
営業利益	1,353	8.4%	103.5%	2,200	194	△2,006	△91.2%
税引前利益	1,252	7.7%	100.1%	2,112	47	△2,065	△97.8%
当期利益	829	5.1%	99.4%	1,403	49	△1,354	△96.5%
基本的1株当たり 当期利益	66円01銭			112円42銭	3円88銭		
1株当たり配当額	–			19円00銭	0円00銭		

# 2020年6月期 第3四半期迄の取り組み（サマリー）

## 国内

- QB HOUSEを19店舗新規オープン、移転6店舗、リニューアル16店舗、増席8店舗、主に貸主都合による閉店13店舗、業務委託先の店舗を直轄（直雇用）へ契約変更**21店舗**
- 3月26日に国内初出店となるQB PREMIUM大手町メトロピア店をオープン
- **2019年7月にロジス仙台校を開校（国内5ヶ所目）**
- 価格改定に伴うスタイリストの待遇改善を2019年8月から実施
- 2019年10月の消費税の増税時、QB HOUSEは税込価格を据え置き、FaSS（ファス）は税込2,160円を税込2,200円へ変更

## 海外

- 香港：QB HOUSEを4店舗新規オープン、移転1店舗、閉店2店舗（内、1店舗はデベロッパー都合による一時閉店）  
2019年7月より60HK\$→70HK\$（16.7%アップ）へ価格改定を実施

	改定前価格	改定後価格
香港の価格改定	60HK\$（約840円）	70HK\$（約980円）

- シンガポール：2019年8月に8店舗目となるQB HOUSE Premium 1店舗を新規オープン、移転1店舗、移転に伴う閉店1店舗
- 台湾：1店舗の新規オープン、商業施設都合による閉店1店舗
- アメリカ：2020年1月に4号店を新規オープン

## 新店（国内）

### 【ショッピングセンター・商業施設】

イオンモール川口前川（埼玉）

津田沼パルコ（千葉）

テラスモール松戸（千葉）

本八幡駅前（千葉）

パークシティ武蔵小山ザ・モール（東京）

イトーヨーカドー国領（東京）

グランベリーパーク南町田（神奈川）

ダイゴプラザ（神奈川）

ららぽーと沼津（静岡）

イオン藤井寺ショッピングセンター（大阪）

クリスタ長堀（大阪）

キャンパススクエア（兵庫）

BRANCH博多パピヨンガーデン（福岡）

サンエー具志川メインシティ（沖縄）

### 【駅】

アトレ五反田（東京）

QB PREMIUM大手町メトロピア（東京）

近鉄布施駅（大阪）

### 【路面】

下北沢駅前（東京）

高槻センター街（大阪）

はかた駅前通り（福岡）

## 増席（国内）

グランエミオ所沢（埼玉）

mozoワンダーシティ（愛知）

イオンモール京都五条（京都）

カリノ江坂（大阪）

イオンSENRIITO（大阪）

イオンモール大阪ドームシティ（大阪）

ゆめタウン呉（広島）

博多マルイ（福岡）

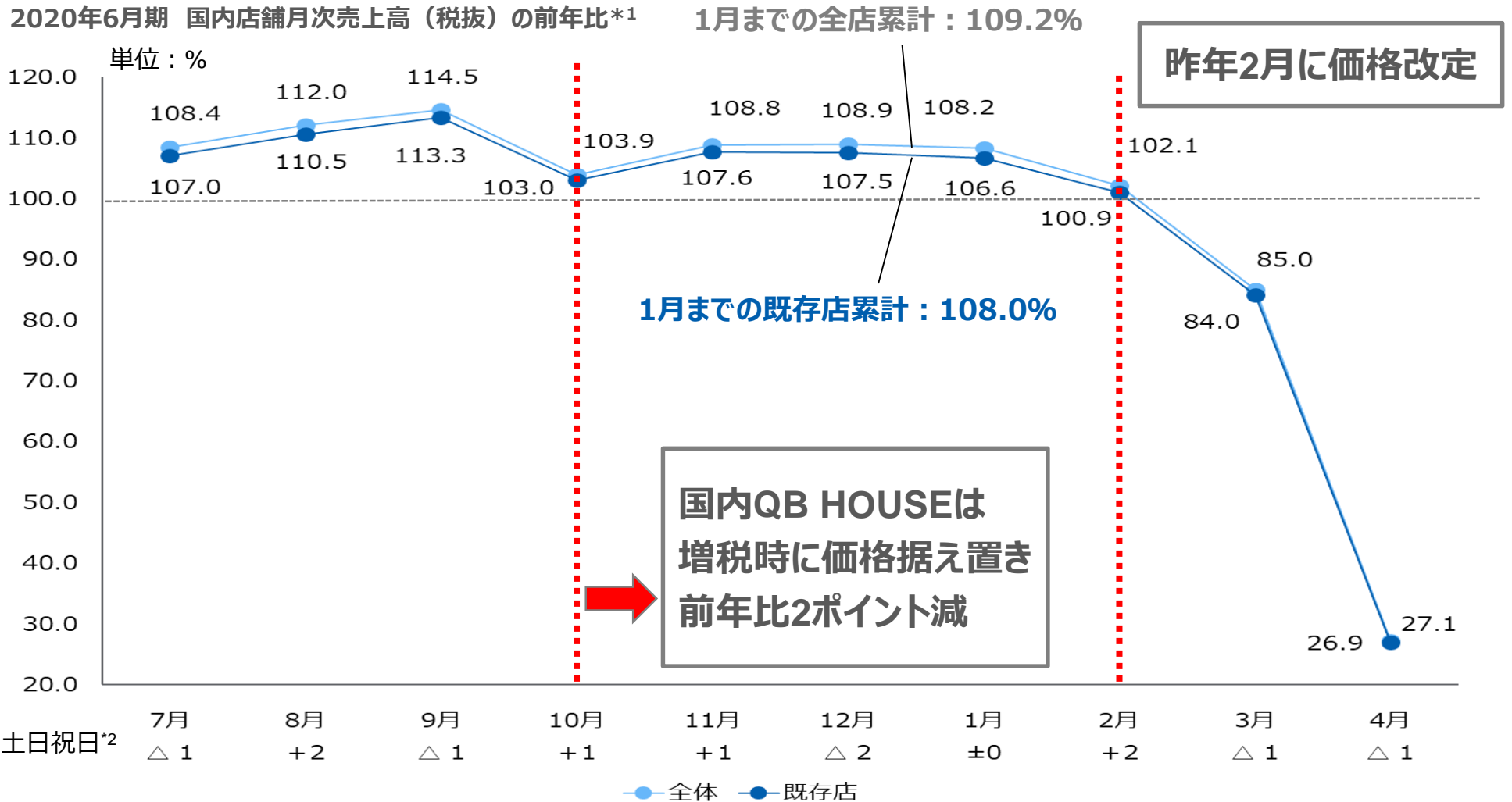
QB PREMIUM大手町メトロピア（3月26日オープン）



※オレンジ色は3Qにおける新店・増席の店舗

# 国内店舗月次売上高（税抜）の前年比の推移

- 3月は主に時短影響。4月は国内の緊急事態宣言に伴い、4月10日から7都府県の対象店舗を臨時休業、4月18日から全国の店舗を臨時休業した影響により、大幅な前年割れ



\*1 既存店とは前前期首から期末まで通年で稼働し、今期も稼働している店舗。国内店舗（FC店・FaSSを含む）のデータであり、海外店舗分は含まず  
 \*2 2019年6月期の同月と比較した場合の土日祝日数。2020年2月は閏年のプラス影響もあり

## 新店・移転・閉店の実績

- 27店舗の新店、8店舗の移転、17店舗の閉店（移転に伴う閉店を含む）
- 閉店は、主に駅改修工事やショッピングセンターのスクラップ&ビルドに伴う施設閉館等に伴うもの。近隣への店舗移転に注力

単位：店舗	業態	2019/6期末	新店	移転	閉店（※1）	増減	第3四半期末
日本	QB HOUSE	554	19	6	△13	12	566
	QB PREMIUM	0	1	0	0	1	1
	FaSS	13	0	0	0	0	13
<b>国内小計</b>		<b>567</b>	<b>20</b>	<b>6</b>	<b>△13</b>	<b>13</b>	<b>580</b>
シンガポール	QB HOUSE（※2）	26	0	1	0	1	27
	QB HOUSE Premium	7	1	0	△1	0	7
	Kids	3	0	0	0	0	3
香港	QB HOUSE	60	4	1	△2	3	63
	QB PREMIUM	1	0	0	0	0	1
台湾	QB HOUSE	27	1	0	△1	0	27
アメリカ	QB HOUSE	3	1	0	0	1	4
<b>海外小計</b>		<b>127</b>	<b>7</b>	<b>2</b>	<b>△4</b>	<b>5</b>	<b>132</b>
<b>連結グループ合計</b>		<b>694</b>	<b>27</b>	<b>8</b>	<b>△17</b>	<b>18</b>	<b>712</b>

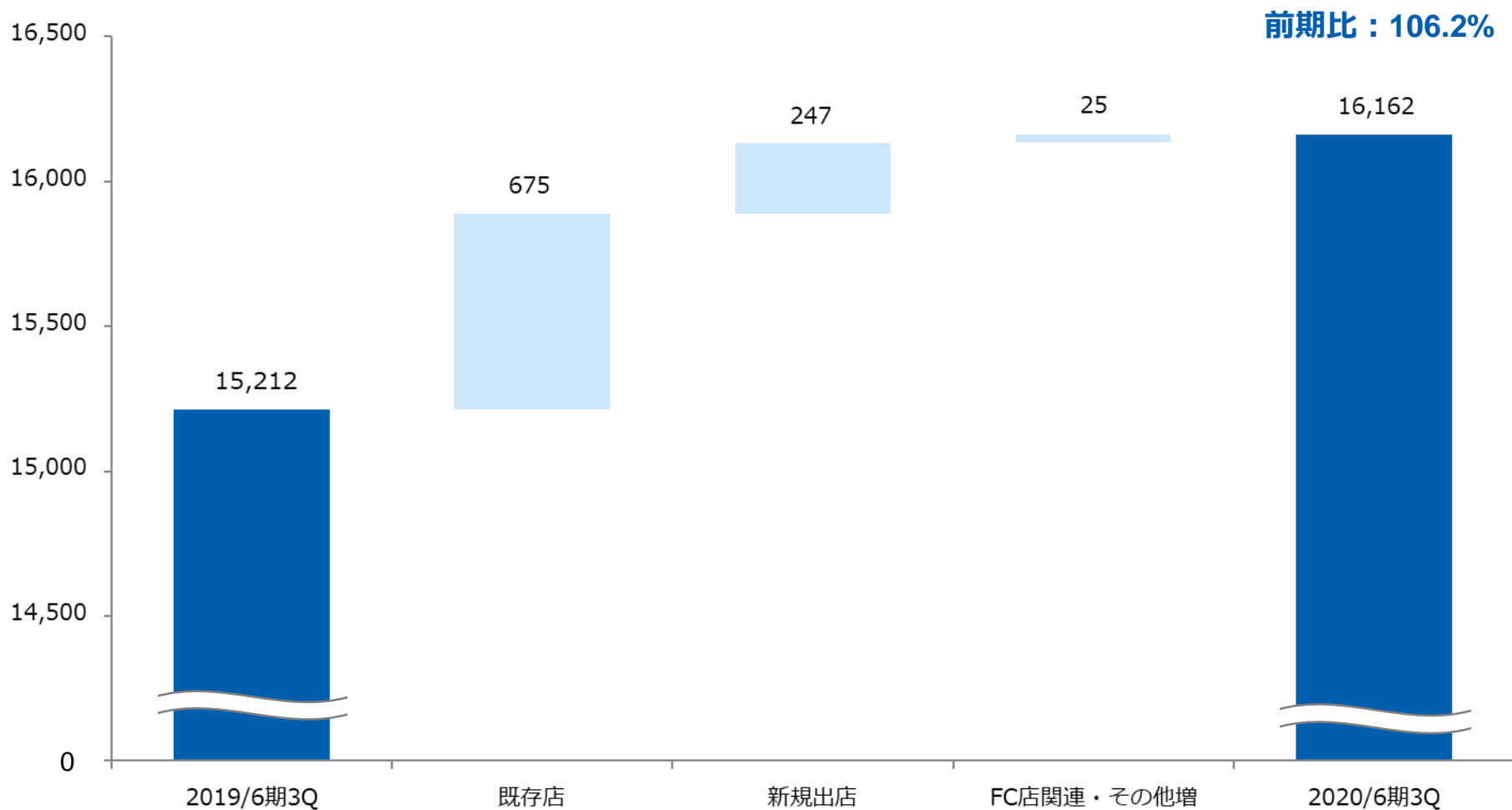
（※1）閉店数は移転に伴う閉店を含む

（※2）シンガポールの移転1店舗は前期（2019年6月）に閉店し、8月に移転オープン

# 売上収益の増減分析

- 売上収益については、新店及び国内・香港のQB HOUSEの価格改定の影響、第3四半期において新型コロナウイルスの影響も一部あったが、949百万円の増収

単位：百万円



※新規出店は出店後13ヶ月未満の店舗

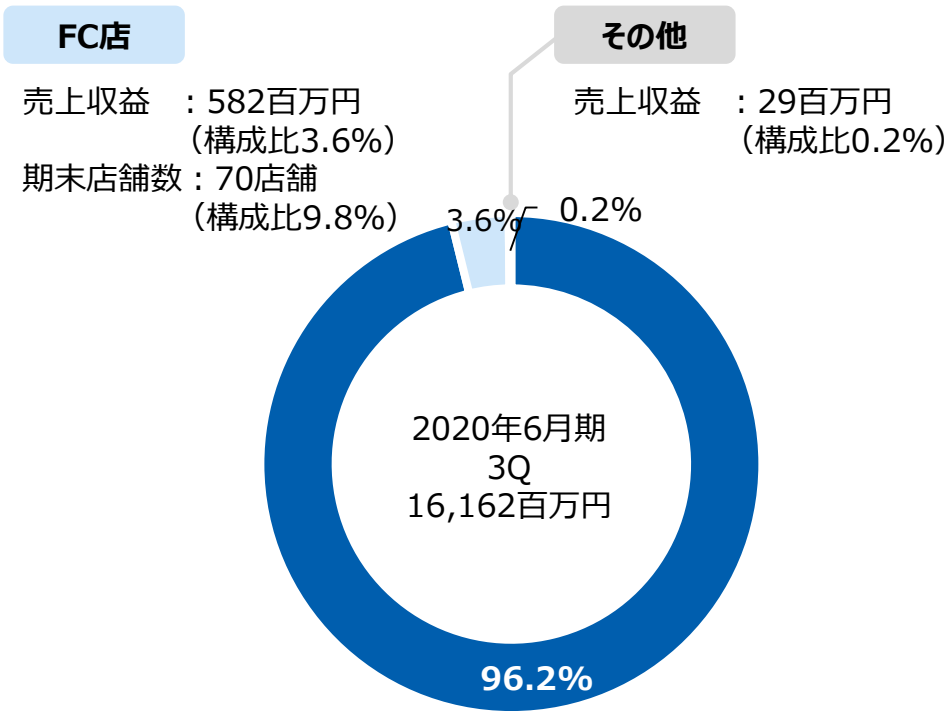
直営店



# 売上収益の構成

— 売上収益の直営店比率は96.2%、海外の比率は15.8%

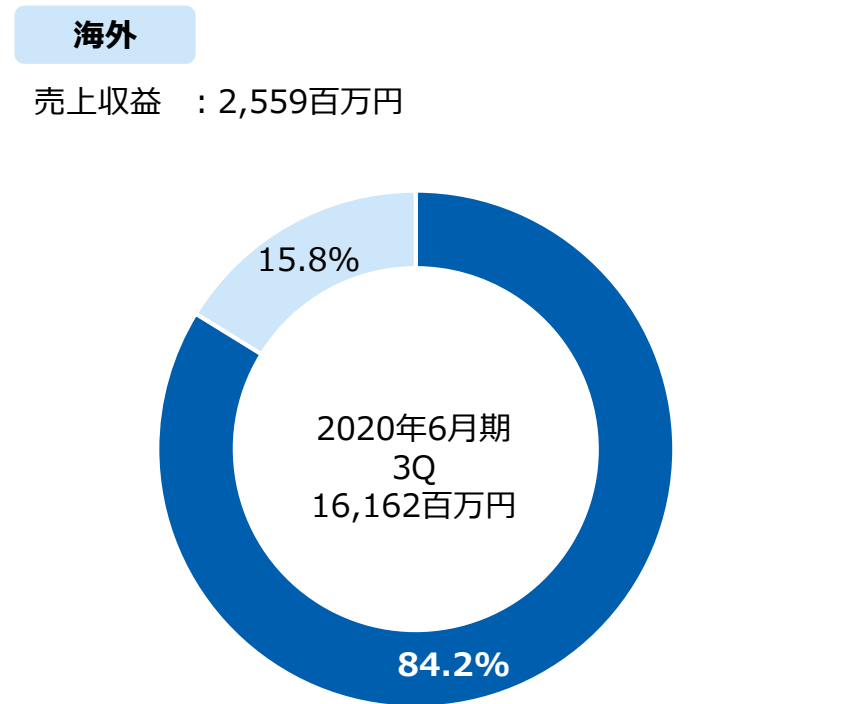
運営形態別売上収益構成



## 直営店

売上収益 : 15,550百万円  
(構成比96.2%)  
期末店舗数 : 642店舗  
(構成比90.2%)

地域別売上収益構成



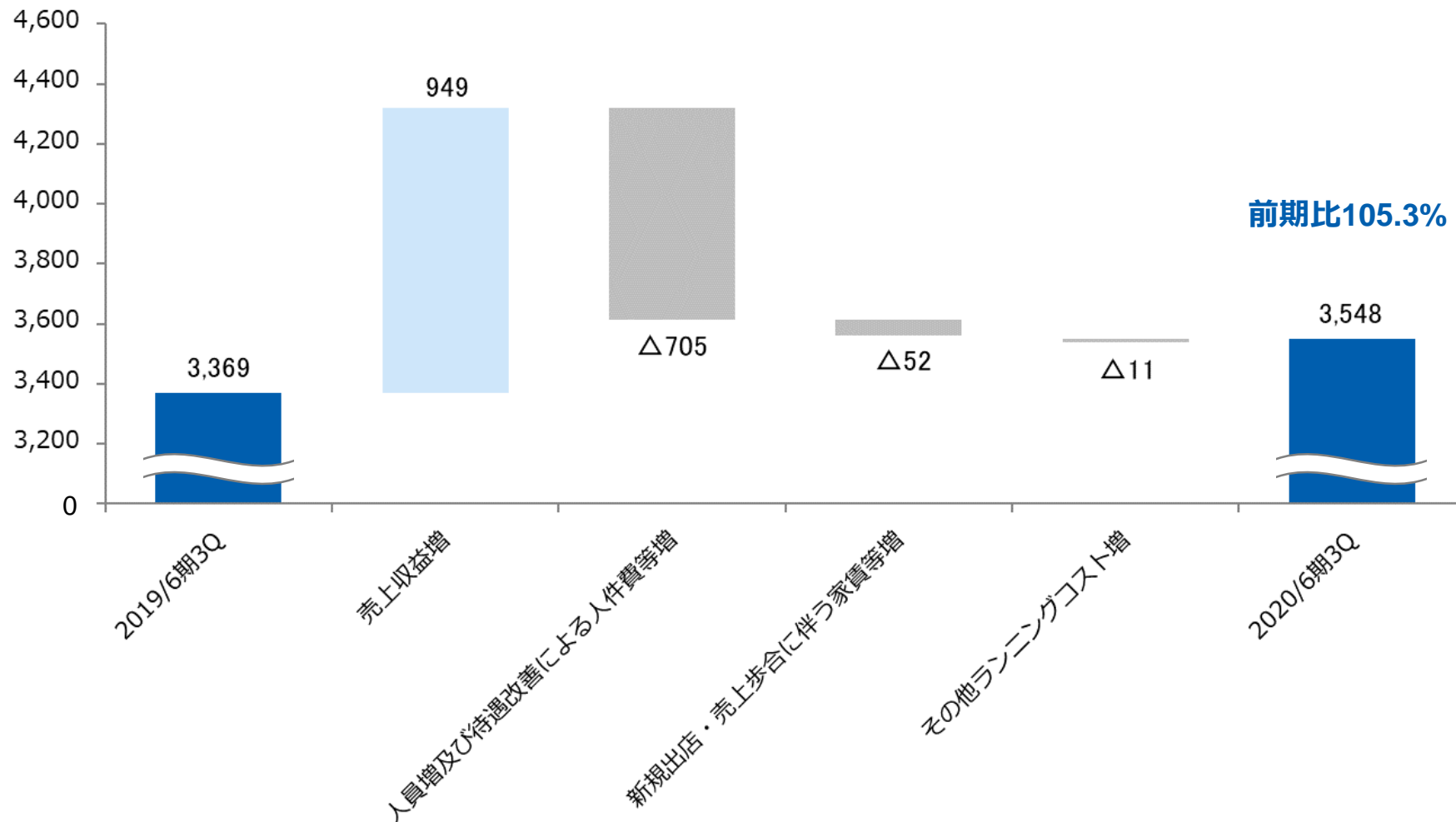
## 国内

売上収益 : 13,602百万円

# 売上総利益（粗利）の増減分析

- 粗利については、売上収益が増加した一方で、人員増及び待遇改善に伴う人件費等増、新店・売上歩合に伴う家賃等増などにより売上原価が増加し、179百万円増益

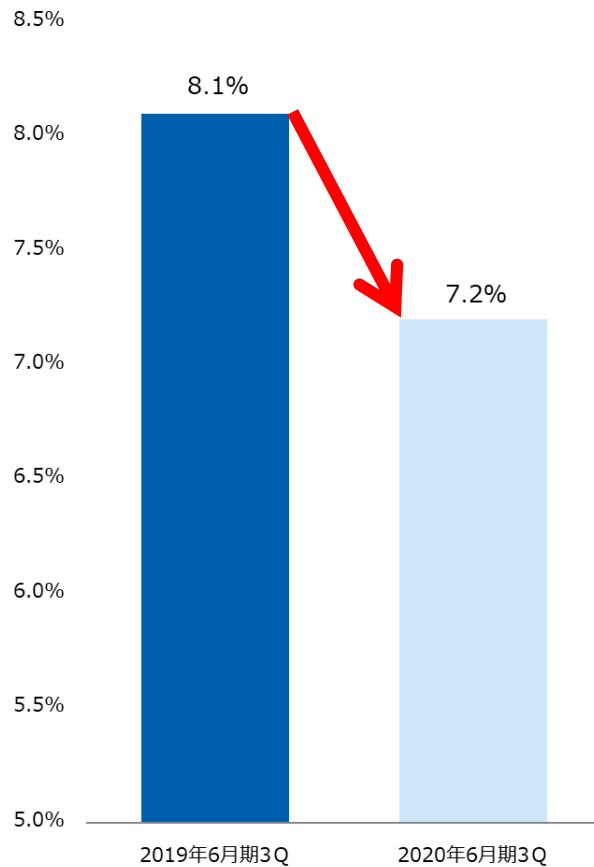
単位：百万円



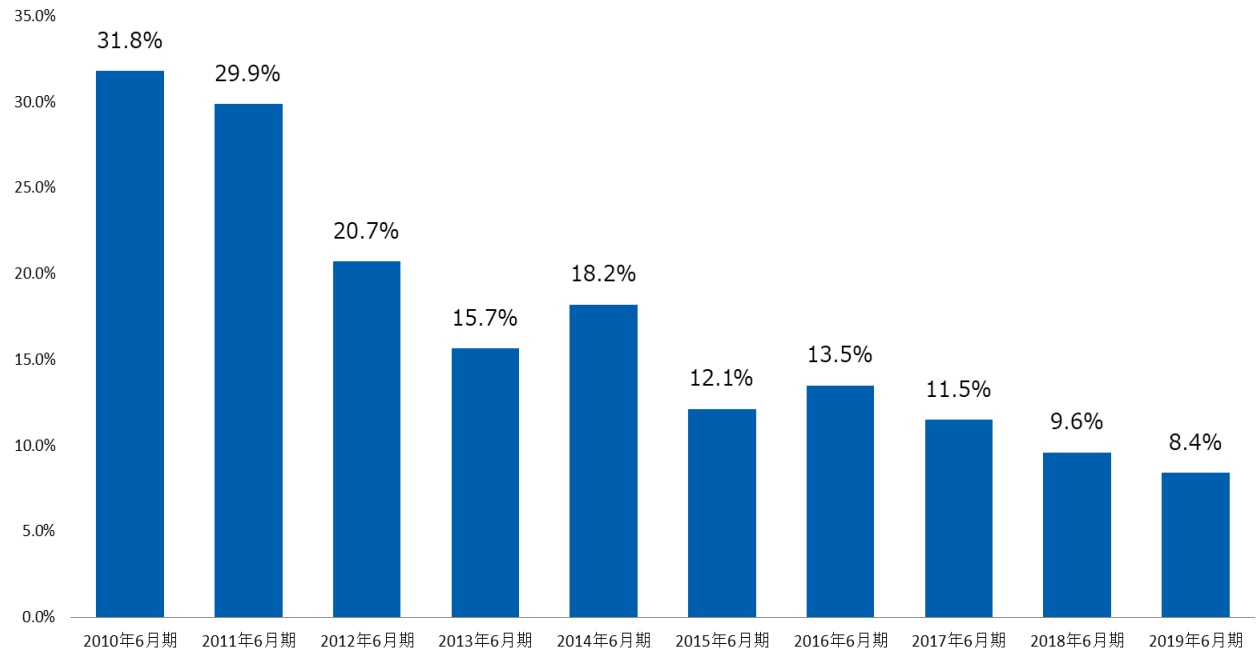
# 国内の正社員の退職率の推移について

- 国内正社員の3Qの退職率は、年率換算で前期8.1%→当期7.2%（0.9ポイント減）

## 国内正社員の3Qの退職率（年率換算）



## 【参考】国内正社員の退職率の推移（年間実績）

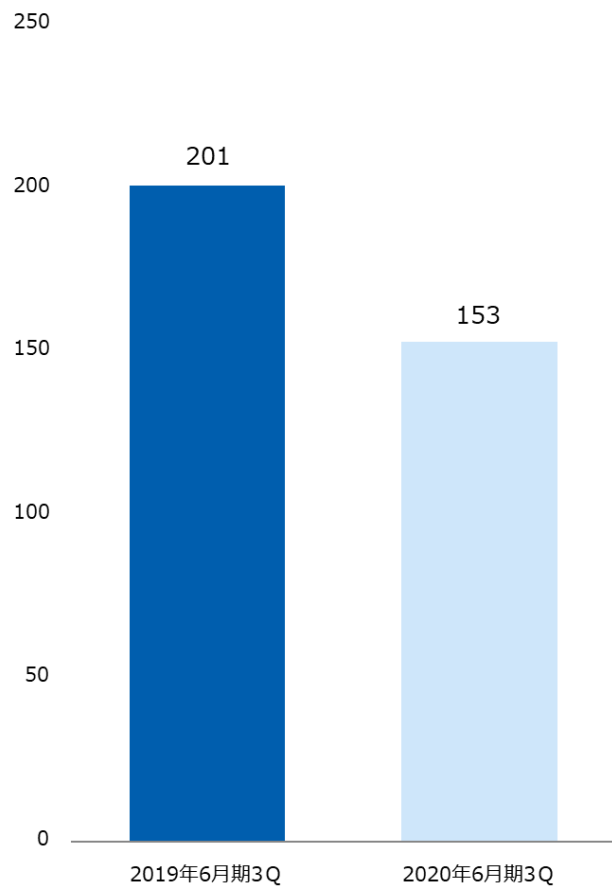


※本社は除く  
※研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

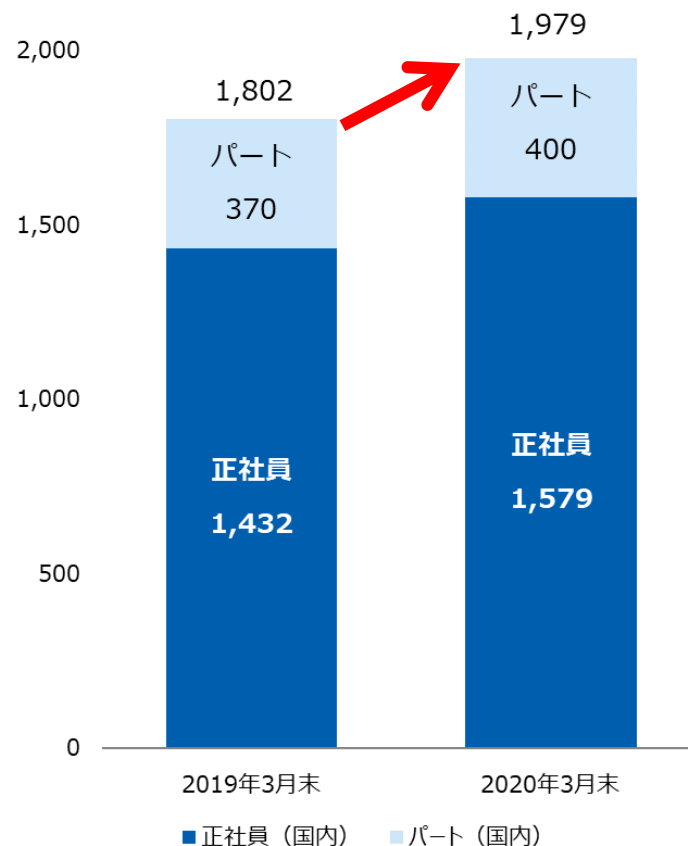
# 国内の従業員数（スタイリスト）について

- 国内正社員の3Q迄の採用数は、前期の上場効果分が通常ペースに戻り、前期比48人減
- 国内の従業員数は、1年間で177人（正社員147人、パート30人）の純増

単位：人 国内正社員の3Q迄の採用数



単位：人 2020年3月末の国内従業員数



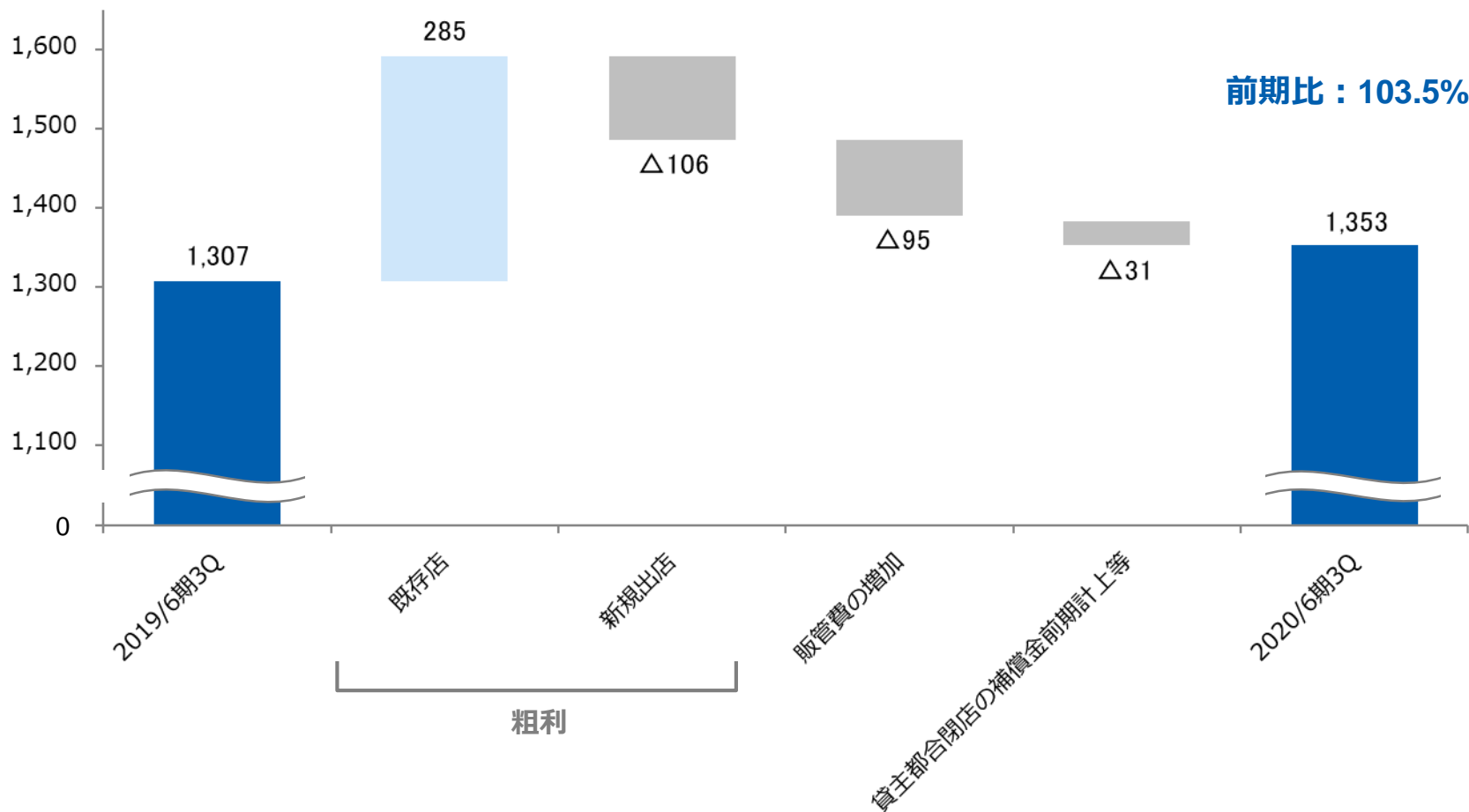
※業務委託先店舗からの移籍を除く。本社は除く  
研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

※業務委託先店舗からの移籍を含む。本社は除く  
研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

# 営業利益の増減分析

- 営業利益については、粗利が増加した一方で、販管費が増加したことにより、45百万円増益

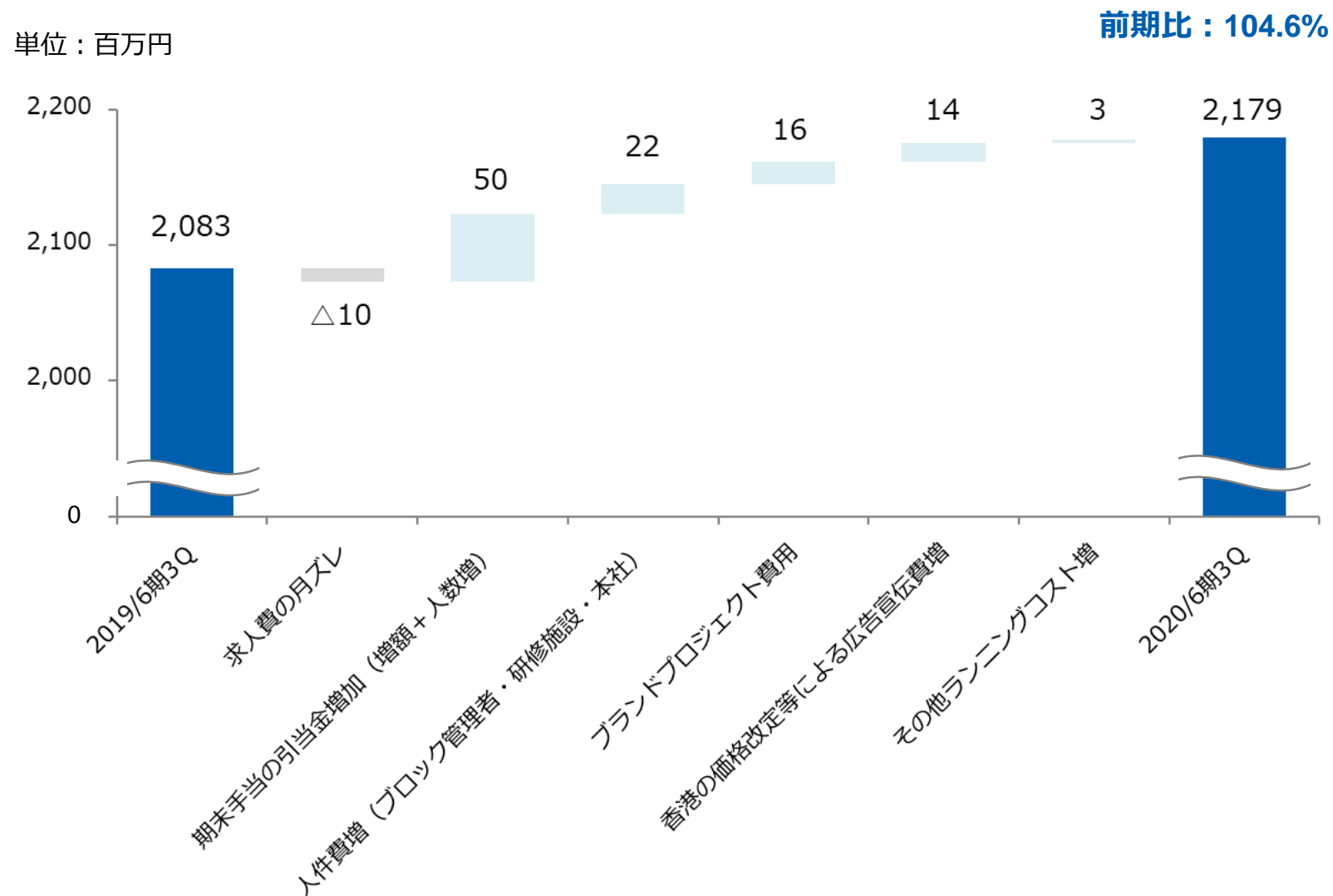
単位：百万円



※新規出店は出店後13ヶ月未満の店舗

# 販管費の増減分析

- 販管費については、待遇改善の一環として増額した期末手当の引当金増加、ブランドプロジェクト費用、香港の価格改定に伴う広告宣伝費増などにより増加



# 2020年6月期第3四半期 グループ<sup>o</sup>連結業績概要

## 連結損益計算書

単位：百万円	2019/6期3Q		2020/6期3Q			
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	前期比
<b>売上収益</b>	<b>15,212</b>	<b>100.0%</b>	<b>16,162</b>	<b>100.0%</b>	<b>949</b>	<b>106.2%</b>
売上原価	△ 11,843		△ 12,613		△ 770	106.5%
<b>売上総利益</b>	<b>3,369</b>	<b>22.2%</b>	<b>3,548</b>	<b>22.0%</b>	<b>179</b>	<b>105.3%</b>
その他の営業収益	41		8		△ 33	
販売費及び一般管理費	△ 2,083		△ 2,179		△ 95	104.6%
その他の営業費用	△ 19		△ 23		△ 3	
<b>営業利益</b>	<b>1,307</b>	<b>8.6%</b>	<b>1,353</b>	<b>8.4%</b>	<b>45</b>	<b>103.5%</b>
金融収益	11		12		1	113.3%
金融費用	△ 68		△ 114		△ 45	166.8%
<b>税引前四半期利益</b>	<b>1,250</b>	<b>8.2%</b>	<b>1,252</b>	<b>7.7%</b>	<b>1</b>	<b>100.1%</b>
法人所得税費用	△ 415		△ 422		△ 6	101.6%
<b>四半期利益</b>	<b>834</b>	<b>5.5%</b>	<b>829</b>	<b>5.1%</b>	<b>△ 5</b>	<b>99.4%</b>

# 2020年6月期第3四半期 グループ連結財務概要

## 連結財政状態計算書

単位：百万円	2019/6期 4Q末	2020/6期 3Q末	増減額
<b>流動資産合計</b>	<b>3,982</b>	<b>3,494</b>	<b>△ 488</b>
現金及び現金同等物	2,489	2,370	△ 118
営業債権及びその他の債権	1,160	796	△ 363
棚卸資産	116	126	9
その他	215	200	△ 15
<b>非流動資産合計</b>	<b>20,299</b>	<b>25,935</b>	<b>5,636</b>
有形固定資産	2,327	1,934	△ 392
使用権資産	-	5,936	5,936
のれん	15,430	15,430	-
その他の金融資産	1,773	1,839	66
繰延税金資産	519	543	24
その他	248	250	2
<b>資産合計</b>	<b>24,282</b>	<b>29,430</b>	<b>5,147</b>
<b>負債合計</b>	<b>14,484</b>	<b>18,960</b>	<b>4,475</b>
営業債務及びその他の債務	273	348	75
有利子負債	11,253	10,741	△ 512
リース負債	465	5,936	5,470
その他	2,491	1,933	△ 558
<b>資本合計</b>	<b>9,797</b>	<b>10,469</b>	<b>672</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>24,282</b>	<b>29,430</b>	<b>5,147</b>

リース会計基準（IFRS）の改正に伴い、前期「リース資産」は当期「使用権資産」に計上

リース会計基準（IFRS）の改正に伴い、店舗賃料等の「使用権資産」を計上

長期借入金の返済による減少

リース会計基準（IFRS）の改正に伴い、店舗賃料等の「リース負債」を計上

前期の未払法人税・消費税、期末手当等の支払による減少

当期利益計上（829百万円）  
剰余金の配当（△237百万円）



# 2020年6月期第3四半期 グループ連結財務概要

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2019/6期3Q	2020/6期3Q	増減額	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,236</b>	<b>3,052</b>	<b>1,816</b>	
税引前四半期利益	1,250	1,252	1	
減価償却費及び償却費	577	2,392	1,815	リース会計基準（IFRS）の改正に伴い、使用権資産の減価償却費が増加（1,813百万円）
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△ 69	401	470	期末の銀行休業日に伴う債権回収時期の差異
利息の支払額	△ 61	△ 104	△ 42	
法人所得税の支払額	△ 523	△ 821	△ 297	国内キュービーネットの課税所得の増加に伴う支払増加
その他	62	△ 67	△ 130	課税売上の増加に伴う未払消費税の増加
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 801</b>	<b>△ 652</b>	<b>149</b>	
有形固定資産の取得による支出	△ 678	△ 533	144	
無形資産の取得による支出	△ 24	△ 21	2	
その他	△ 98	△ 96	2	国内のリニューアル店舗数減少
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>434</b>	<b>2,400</b>	<b>1,965</b>	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 480</b>	<b>△ 2,518</b>	<b>△ 2,038</b>	
短期借入金の純増減額（△は減少）	300	-	△ 300	
長期借入金の返済による支出	△ 525	△ 525	-	
配当金の支払額	△ 221	△ 237	△ 15	1株当たり配当額18円→19円
リース負債の返済による支出	△ 150	△ 1,930	△ 1,779	
その他	116	173	57	リース会計基準（IFRS）の改正に伴い、店舗賃料等のリース負債の返済が増加（△1,797百万円）
<b>現金及び現金同等物の増減額（△は減少）</b>	<b>△ 39</b>	<b>△ 118</b>	<b>△ 78</b>	
<b>現金及び現金同等物の当期末残高</b>	<b>1,978</b>	<b>2,370</b>	<b>392</b>	

I 2020年6月期 第3四半期実績

II **新型コロナウイルス感染拡大に  
よる当社業績への影響**

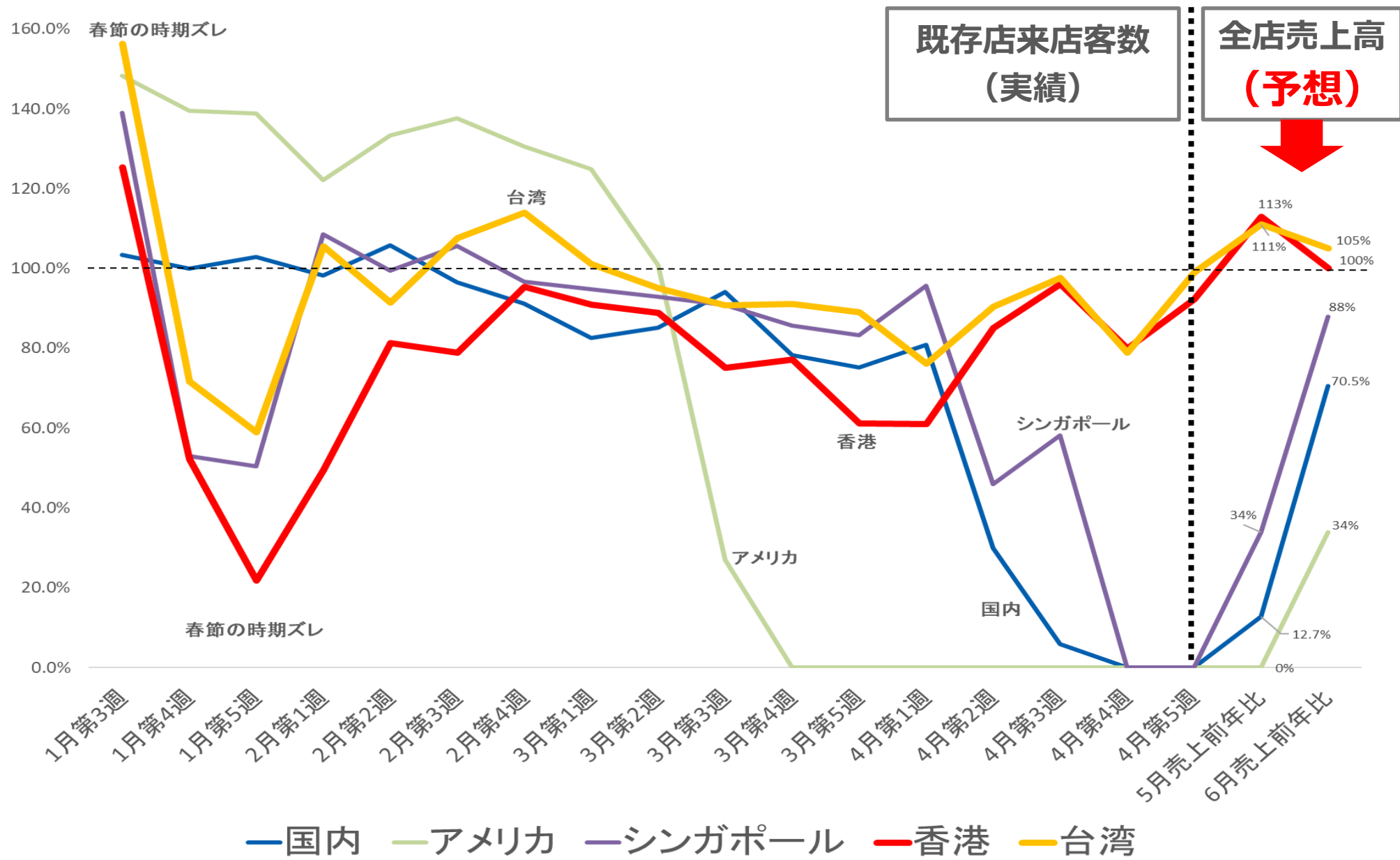
# 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国内の流れについて

社会の動き	当社（国内）
2/27 政府が公立小中高の学校の臨時休校を要請	2/29 複数のデベロッパーより営業時間短縮の通達
2/28 北海道知事が緊急事態宣言を発表	3/6 営業時間短縮203店舗
3/11 WHOがパンデミック宣言	3/12 営業時間短縮207店舗、臨時休業1店舗
3/25 東京都が平日の自宅勤務や週末の不要不急の外出を控えるよう要請	3/28 営業時間短縮89店舗、臨時休業47店舗
4/7 政府が7都府県に緊急事態宣言	4/10 7都府県の442店舗（約76%）を臨時休業
4/16 全都道府県に緊急事態宣言	4/18 国内の全店舗を臨時休業
5/4 緊急事態宣言を5月31日まで延長決定	4/23 コミットメントライン契約30億円を締結 4/24 （4/23三菱UFJ銀行、4/24みずほ銀行、 4/28 4/28三井住友銀行、各行10億円）
5/14 緊急事態宣言の一部解除（39県）	5/13 7店舗再開（岩手・宮城・静岡） 5/14 2店舗再開（宮城・熊本） 5/15 9店舗再開（青森・静岡・三重・香川・愛媛） 5/16 1店舗再開（福島） 5/18 68店舗再開（22府県） 5/19～5/25 154店舗再開予定（現時点） （順次再開予定）

# 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う海外の流れについて

社会の動き	当社（海外）
1/30 WHOが緊急事態宣言	春節（1/25～1/27）頃から、来店客数が減少 特に、香港の落ち込みが大きかった
2/8 中国大陸から香港に入国する全ての人に対して 強制検疫	
3/11 WHOがパンデミック宣言	
3/22 ニューヨーク州で自宅待機命令（ロックダウン）	3/20 ニューヨーク4店舗臨時休業
3/29 香港で4人超の集まり禁止、娯楽施設閉鎖、 飲食店規制	3/24 香港空港内の店舗休業（営業中止命令） 他の店舗は通常営業
4/1 台湾で公共交通機関のマスク着用義務化 4/7 シンガポールでサーキットブレーカー発令 4/22 シンガポールで自宅待機命令（ロックダウン）	4/7 シンガポール全店時間短縮で営業継続 4/22 シンガポール全店臨時休業
	5/12 シンガポール営業再開（臨時休業4店舗）

# 各国の来店客数の既存店前年比と5～6月全店売上高前年比（予想）について



※既存店来店客数前年比は曜日を合わせて週毎に比較。春節の時期は昨年2/5～2/7、今年1/25～1/27と時期ズレあり  
 ※5～6月売上高前年比（予想）は新店を含む

## 2020年6月期 通期業績予想の下方修正について

単位：百万円	2020/6期通期			
	当初予想	修正後予想	増減額	増減率
売上収益	22,342	18,672	△3,671	△16.4%
営業利益	2,200	194	△2,006	△91.2%
税引前利益	2,112	47	△2,065	△97.8%
当期利益	1,403	49	△1,354	△96.5%
基本的1株当たり 当期利益	112円42銭	3円88銭		
1株当たり配当額	19円00銭	0円00銭		

新型コロナウイルスに伴う臨時休業等の影響により



業績予想修正  
配当を無配へ

## 2020年6月期 通期業績予想の前提について

国内・海外	前提
国内	<p>【4月】 4月18日からの全店臨時休業等の影響により、前年同月比27.6%の売上収益実績</p> <p>【5月】 5月14日に発表された緊急事態宣言の一部解除により、解除された地域を中心に、約280店舗の臨時休業店舗を順次再開していくことを見込む</p> <p>【6月】 6月1日から全店舗再開を予定</p> <p>再開後の来店客数は、新型コロナウイルスによる影響を受けていた臨時休業前の実績を基に、営業時間の短縮を加味して算定</p> <p>店舗スタッフの人件費は、臨時休業及び営業時間の短縮による収入の減少が生じないよう、通常月と同程度の給与を支給。5～6月も同様に支給することを見込む</p>
海外	<p>【シンガポール】 政府の防疫措置により、4月22日から5月11日まで全店舗を臨時休業 5月12日より、4店舗を除き32店舗を再開</p> <p>【香港】 新型コロナウイルスの感染拡大の影響が緩和 4月は前年同月比 98.1%の売上収益実績。5～6月は前年を上回る水準を見込む</p> <p>【台湾】 新型コロナウイルスの感染拡大の影響が緩和 4月は前年同月比 89.4%の売上収益実績。5～6月は前年を上回る水準を見込む</p> <p>【アメリカ】 ニューヨークのロックダウンにより、3月20日より全4店舗休業。6月中旬再開を見込む</p>

① 命の安全を何よりも最優先に考え、万全の  
感染防止策を実施

② デジタル技術を活用した積極的な変革を  
実施し、新たな事業機会を創出

③ 新型コロナウイルス年内再流行に備えた  
追加資金の確保とキャッシュフローの強化



# 営業再開に向けての取り組み：3密（密閉、密集、密接）に対する対応策について

## 密閉

【空間除菌】  
【換気】

超音波噴霧器の設置、次亜塩素酸分子水を噴霧  
サーキュレーター、ハイブリットファンの設置、定期換気

ハイブリットファン



超音波噴霧器



## 密集

【待合席】 間引き

【待合システム】 アナログ版待合記名式、順番案内システム、  
予約システム

【キッズスペース】 閉鎖

【カット席】 飛沫防止シート



アナログ版待合記名式

飛沫防止シート



## 密接

【施術中】

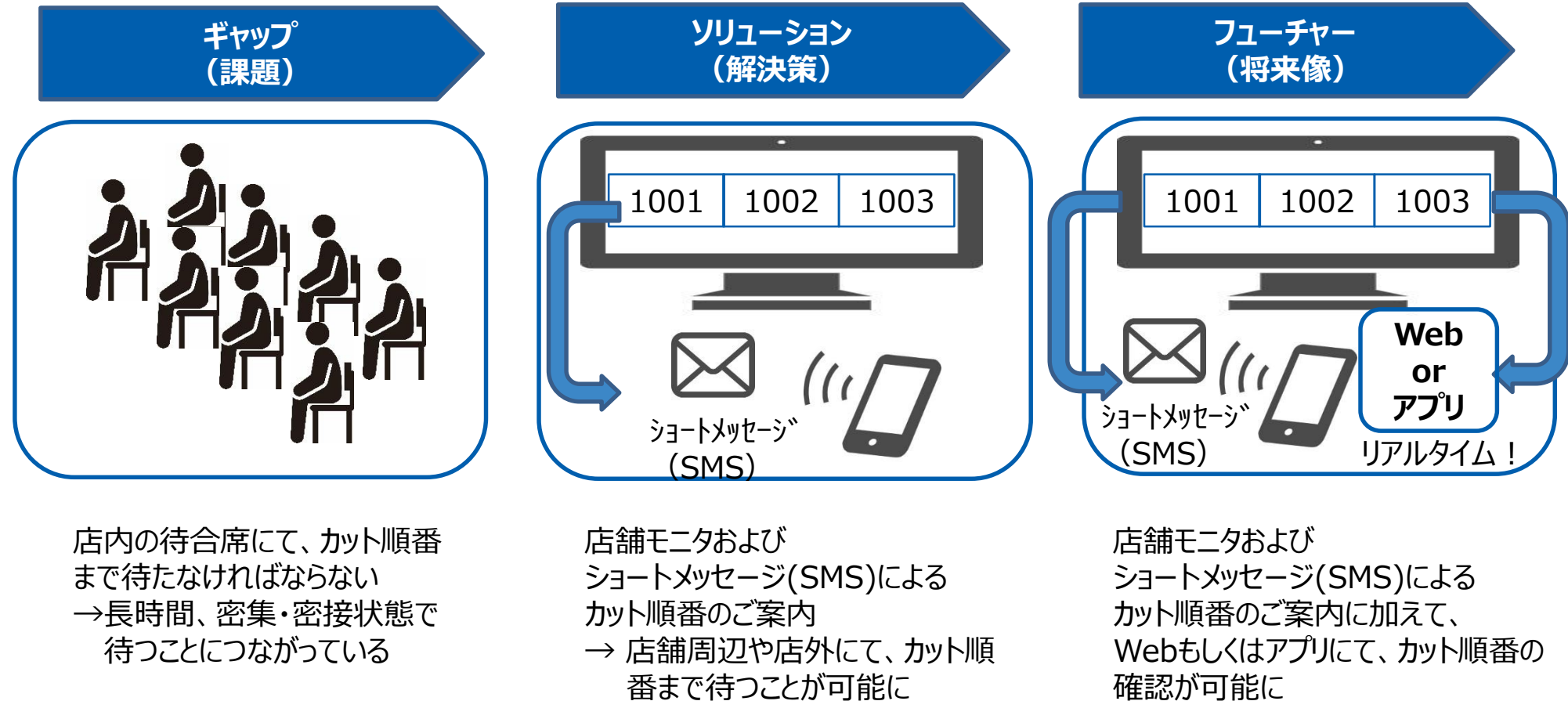
マスク、フェイスガードの装着、使い捨てクシの破棄、手渡し禁止、消毒



受け渡しトレイ

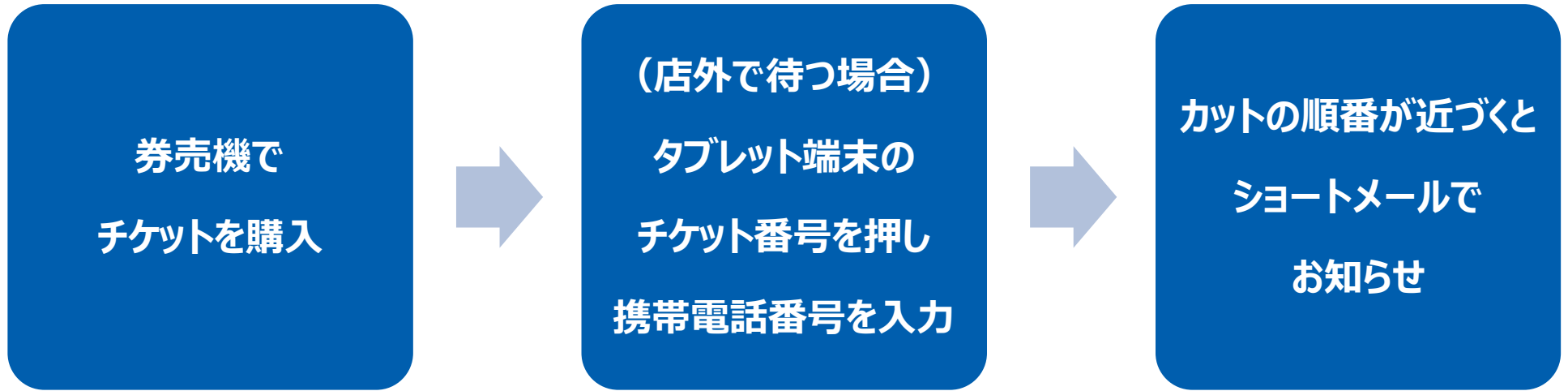
# 営業再開に向けての取り組み：QB HOUSEの順番案内システムのコンセプトについて

## － 現状の課題と解決策および将来像について



# 営業再開に向けての取り組み：QB HOUSEの順番案内システムについて

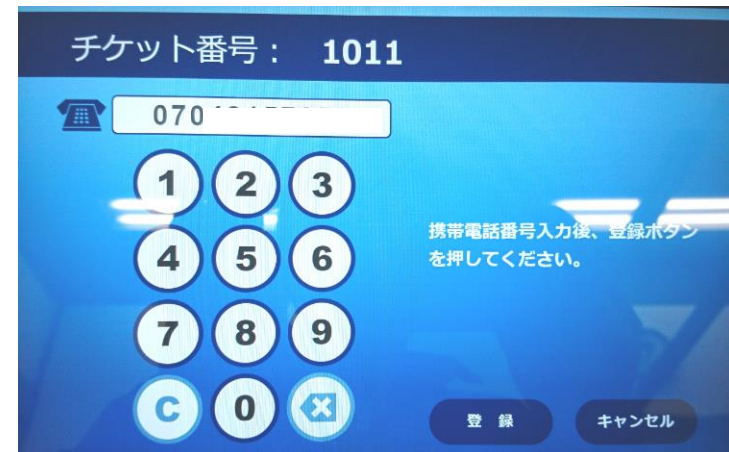
- QB HOUSEの順番案内システムを銀座店でテスト → 本格展開（予定）



順番表示モニタ



携帯電話番号の入力画面

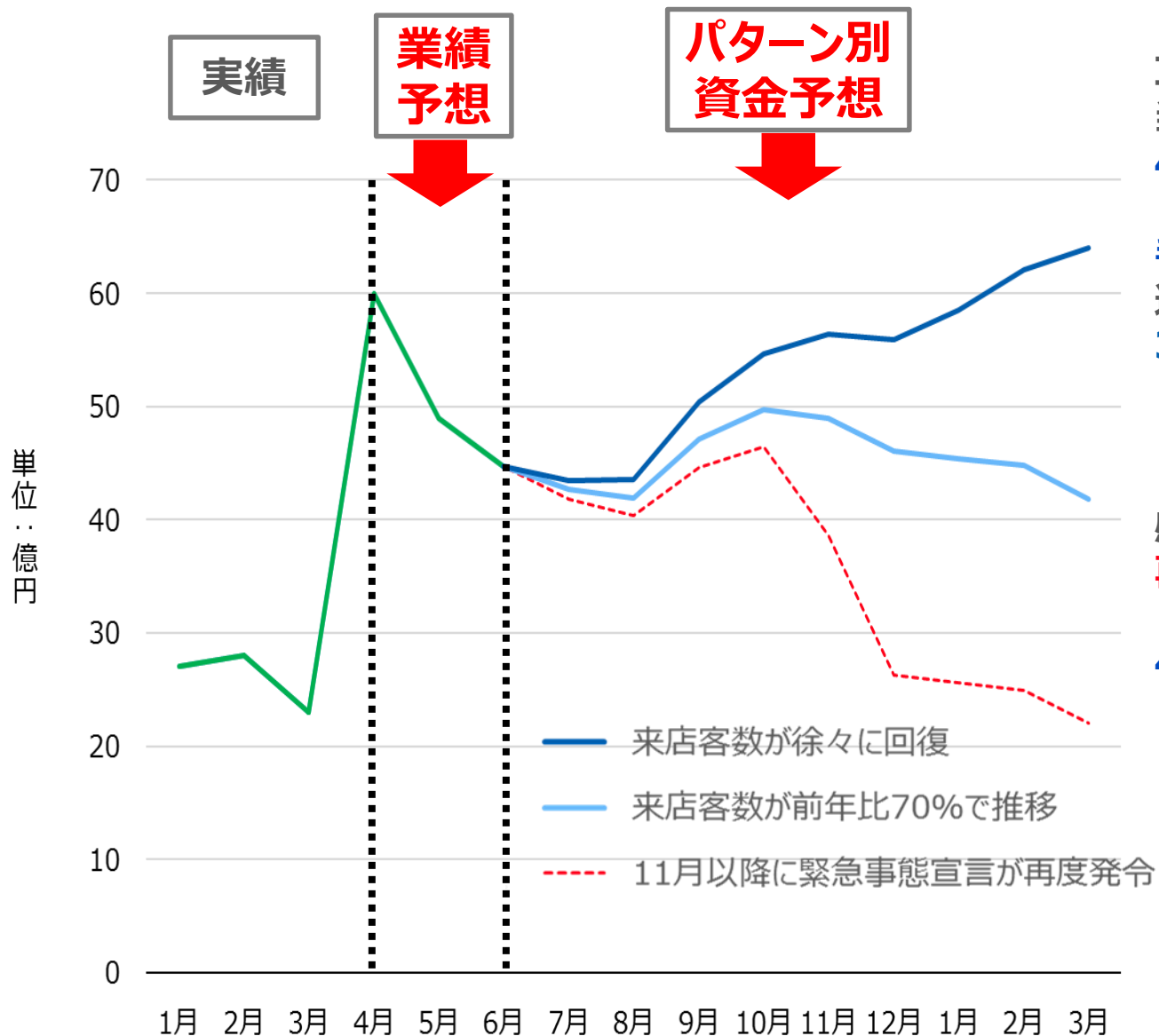


# 営業再開に向けての取り組み： QB PREMIUM、FaSSの新アプリによる予約システム

- QB PREMIUM、FaSSにおいては、新アプリによる予約システムを導入予定



# 資金の状況（連結）について



コミットメントライン契約および  
当座貸越契約の実行により、  
**40億円**の資金を調達

手元資金は**60億円**となり、  
通常の月間連結経費約**16億円**の  
**3.8倍**の資金を確保



感染再拡大による**緊急事態宣言の  
再度発令**などのリスクに備えるため、  
5月中に新たなコミットメントライン契約  
**40億円**を締結する計画

資金繰りの前提条件等

- ・ 5～6月は業績予想の前提条件を使用
- ・ 海外は売上が前年比90%で推移すると仮定
- ・ 国内の来店客数は以下の3パターン
  - ① 徐々に回復し、来年3月に前年比100%に戻る
  - ② 前年比70%で継続推移
  - ③ 11～12月に緊急事態宣言が再度発令  
(4～5月と同程度になると仮定)

## 2020年6月期 通期計画サマリー

### 国内

- 年間25店舗の新店の計画に対して、QB HOUSEの新店22店舗、QB PREMIUMの新店1店舗の通期見込み  
(新型コロナウイルスの影響により、計画比▲2店舗の通期見込み)
- ブランドプロジェクトにて決定した新デザイン・新ロゴの新店を準備中
- FaSS：年間1店舗の新店計画については、採用面とのバランスから検討中
- 上期に採用・定着プロジェクトを立ち上げ、さらなるスタイリストの確保に注力
- 研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）の増設に備えて、教える側のトレーナー等の人員を増員予定

### 海外

- 香港では、年間4店舗の新店の計画に対して、既に4店舗を出店済み  
香港空港のQB PREMIUMは、3月24日より臨時休業（営業中止命令）
- シンガポールでは、政府から4月7日よりサーキットブレーカーが発令され、4月22日～5月11日まで全店休業。5月12日より営業再開（4店舗臨時休業）  
サーキットブレーカーは6月に解除見込み
- 台湾では、年間3店舗の新店の計画に対して、計画通り3店舗の通期見込み
- アメリカでは、年間2店舗の新店の計画に対して、1店舗の通期見込み  
ニューヨークの4店舗は、3月20日より臨時休業。6月中旬頃の再開を予想



## 配当について

当社については、当期利益の大幅な減少が予想され、また、今後も新型コロナウイルス感染が再流行するリスクが高く危機的な状況が続く中で、可能な限り手元資金を確保し財務の安定を最重視したいと考え、誠に遺憾ながら今期の配当は無配とさせていただきたいと考えております。

株主の皆様には深くお詫び申し上げます。今回の危機により大きく変わった環境に適応すべく、改めて長期的な持続性、成長性を重視した戦略を早期に再構築し、安定的な配当の実現に向けて努力してまいります。

代表取締役社長 北野泰男

本プレゼンテーション資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、売買の勧誘を構成するものではありません。

本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

